

ク ッ プ

山形市少年自然の家

1. 活動概要

『クッブ』とはスウェーデン語で『薪(まき)』という意味です。このゲームは、1000年以上前に北欧のバイキングたちが、なかなか陽の沈まない夏の夕暮れを過ごすために始めた遊びが起源と言われています。クッブは体力の優劣を問わず、年齢や性別を越えて楽しむことができる野外レクリエーションとして、また、年配の人がこどもや若者と同じ条件で楽しめる生涯スポーツとして広がっています。

ねらい：仲間と戦略を考えながら、勝負をする楽しさを味わう。



2. 活動場所 あじさい広場、体育館前芝生、サービスセンター周辺などの屋外

3. 所要時間 1ゲーム15分程度 (人数によって異なる)

4. 準備 《自然の家》クッブセット：丸棒12本・短角材「クッブ」6本・長角材「キング」1本
※1セットあります。

5. 活動内容

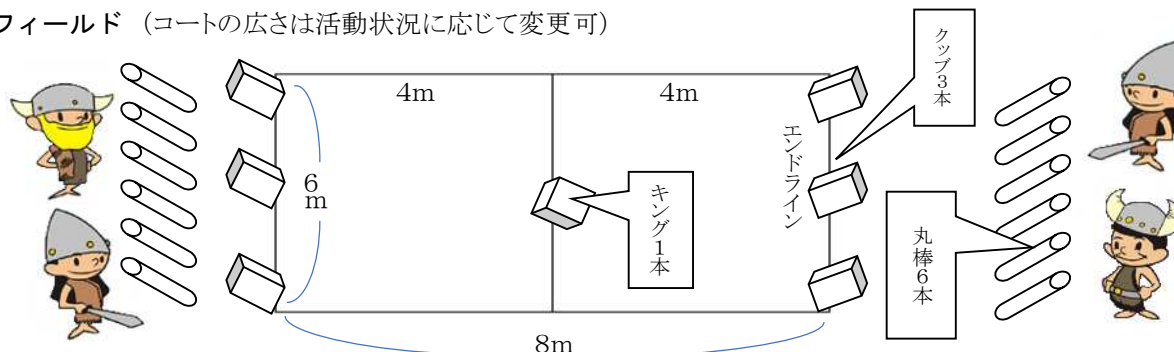
★準備

- ①2チーム対抗で戦います。1チームは最多6人までとし、各1チーム丸棒を6本持ちます。
- ②縦8m×横6mのコート両端(エンドライン)に、1チーム3本ずつクッブを立て均等に並べます。
中央にはキングを1本立てます。

★ルール

- ①先攻チームが6本の丸棒を1本ずつ全て投げ、相手のクッブ3本を倒しにかかります。
※投げ方は下投げのみとします。その他の投げ方は危険なので禁止です。
- ②丸棒で相手のクッブを倒した場合、倒された側のチームはそのクッブを相手陣地内に投げ入れます。
倒した側のチームは、相手から投げ入れられたクッブをその場に立てます。
- ③後攻チームは、まず相手に取られたクッブから先に倒さなければなりません。誤ってエンドラインにあるクッブを先に倒してしまった場合、丸棒は投げたこととしますが、倒されたクッブは元の状態に戻しゲームを続けます。
- ④相手のクッブを全て倒すと、キングを狙うことができます。先にキングを倒したチームの勝ちとなります。
** 相手のクッブを全て倒す前にキングを倒してしまうと、その時点で負けとなります **

★フィールド (コートの広さは活動状況に応じて変更可)



6. 実施上の留意点

- ・活動する時は、人や物に当たらないように周囲をよく確認します。
- ・攻撃される側は、投げられた丸棒に当たらない場所に立ちます。
- ・活動後は道具の数を確認し返納します。